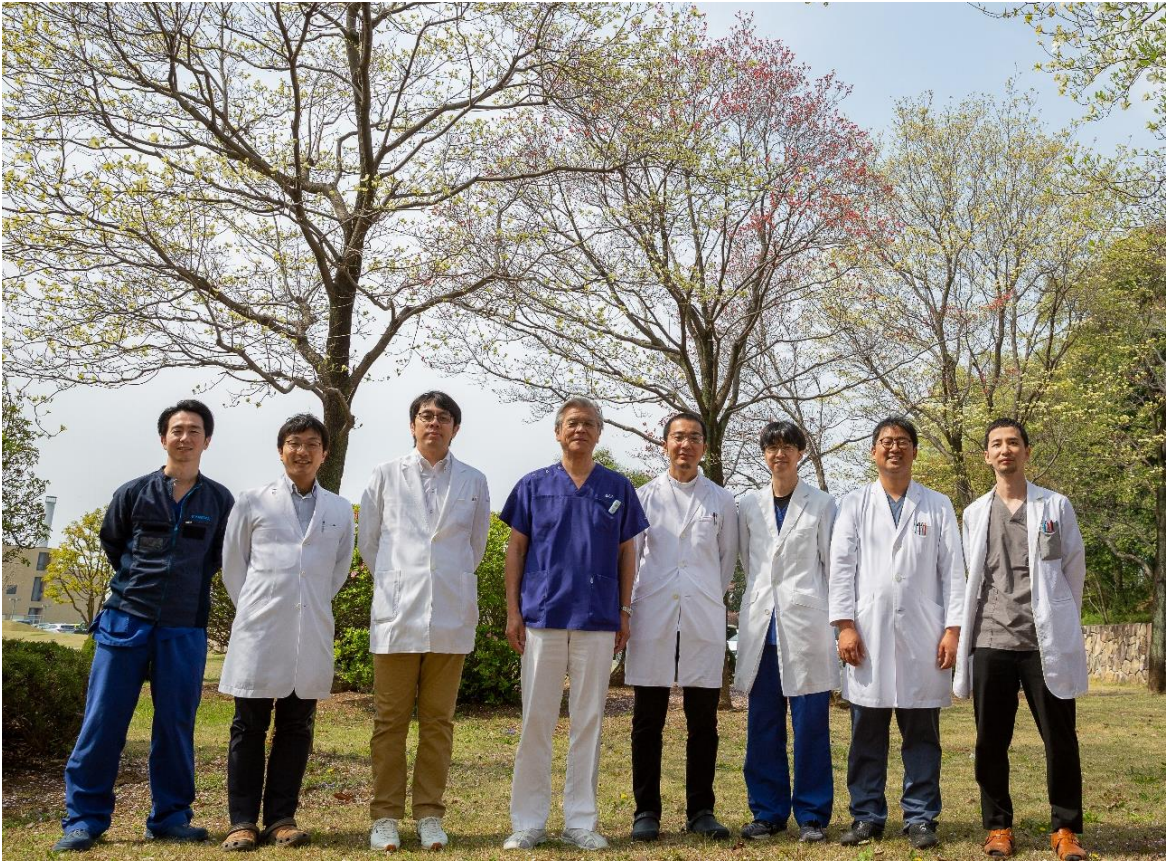


群馬県立がんセンター
消化器外科通信 Vol.9
2023.4.



消化器外科部長 尾嶋 仁

2019年末から流行した新型コロナウイルス感染から3年が過ぎ、数々のピークを乗り越えCOVID-19と共存する生活が定着、2023年3月よりマスク着用の見直しが行われました。新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、2023年5月に、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行する方針です。この3年間で、医療現場でも多くの対策、改善が行われ自己防衛はもちろんの事、リモート会議、学会も通常に行われるようになりました。

病院に行くのを控えていた人も、症状があれば病院受診を行ってください。症状がなくても検診の重要性、必要性を再確認して頂きたいと思います。

今回の外科通信では、ロボット支援手術（ダビンチ）の現状、ロボット支援下手術の利点、新任医師の紹介、現在行われている臨床試験を紹介したいと思います。

1. 手術支援ロボット ダビンチ手術の現状

— 消化器外科ロボット支援手術 360例 達成 —

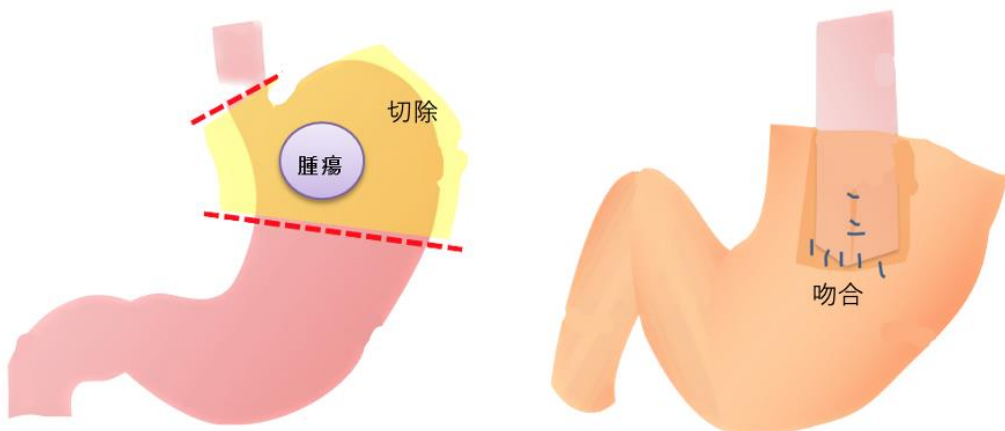
2023年4月までの実績は、食道癌:72例、胃癌:73例、直腸癌:216例です。食道癌、胃癌、結腸直腸癌ではダビンチ手術指導者のプロクター取得。直腸癌ダビンチ術者は3名、胃癌ダビンチ術者は2名で行なっています。食道癌では100%、直腸癌では95%以上、胃癌手術では、全体の71%、ロボット(48%)/鏡視下手術(23%)で行っています(2023/1月-4月)。

❖ ロボット支援手術術者 ❖

尾嶋 仁	: 国際B級、国内A級 食道、胃、結腸直腸悪性腫瘍手術プロクター
山田 和之介	: 国内B級 直腸悪性腫瘍手術プロクター
加藤 隆二	: 直腸
榎田 泰明	: 胃

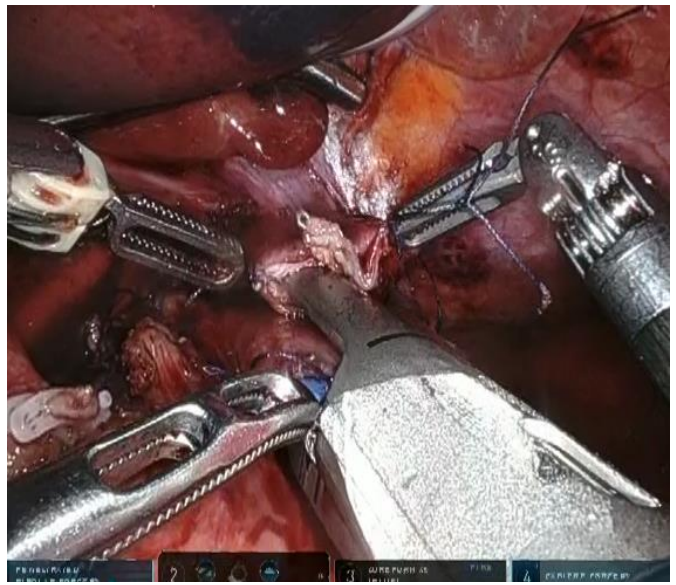
2. ロボット支援下手術症例

胃癌におけるロボット支援下手術は70例を超え、2人目術者の榎田医師が現在指導医プロクター取得に向けて経験を積んでいます。今回は胃癌 噴門側胃切除術について紹介します。噴門側胃切除術は胃全摘術と比較して、体重減少率の低下やダンピング症状の軽減が報告されています。胃上部の早期胃癌や食道胃接合部癌に対して適応しており、当院はロボット支援手術で噴門側胃切除を行っております。

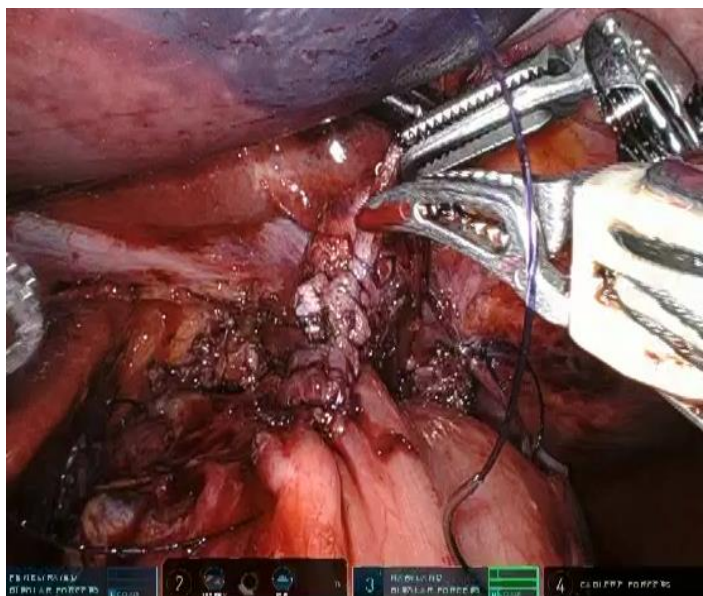




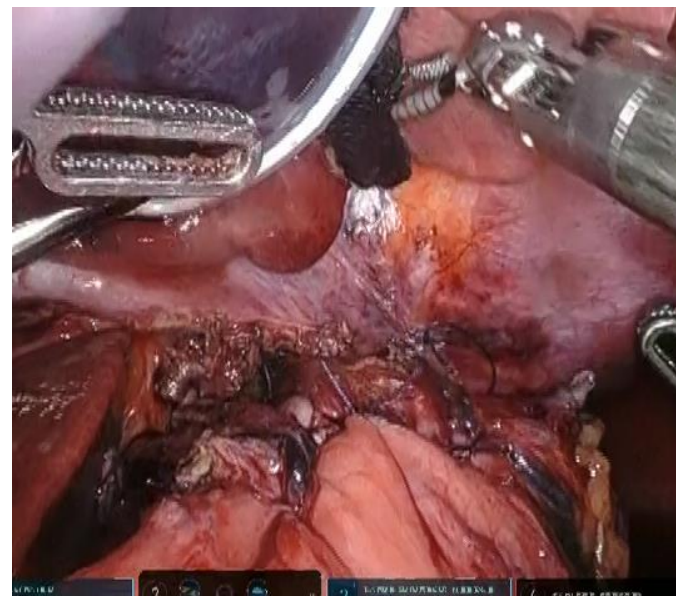
【噴門側胃切除後】



【食道胃吻合】



【断端閉鎖】



【吻合終了】

👉 ロボット支援下手術では、体腔内縫合など細かい操作が可能です。

℞ ロボット支援下手術の利点 ℞

- ◇3Dハイビジョン画像による安定した視野確保
- ◇手ぶれ防止機能で細かい操作が安全に可能
- ◇術者の負担軽減

3.新任スタッフ紹介

**肝胆膵外科高度技能専門医が着任しました。
今後、肝臓、膵臓領域の腹腔鏡下手術、ロボット支援手術へ。**



渡辺 亮

本年4月3日に群馬県立がんセンターに赴任をさせていただきました。出身は神奈川県横須賀市ですが、群馬大入学からはずっと前橋に住んでおり、地元の神奈川よりも群馬での生活の方が長くなっております。趣味と言えるものは無くなってしまいましたが、生涯かけて阪神タイガースを応援しています（ファン歴 35年）。当院の赴任前は、群馬大学病院にて肝胆膵疾患の外科治療、化学療法を経験して参りました。外科手術に関してはハイボリュームセンター（手術症例数の多い施設のこと）である群馬大学にて研鑽を積み、昨年度、日本肝胆膵外科学会の高度技能医を取得しました。肝胆膵領域の外科手術は高侵襲でハイリスクな手術が多く、十分な術前の準備・計画と、丁寧な手術、慎重な術後管理が必要です。肝胆膵外科診療において、群馬大学で学んだ経験や知識を活かしていきたいと考えています。また、肝臓や膵臓領域の腹腔鏡下手術に関しても安全に配慮をしながら導入を進めていければと考えています。何卒、よろしくお願い致します。

－消化器外科スタッフ紹介－



**消化器外科部長
尾嶋 仁**

専門: 上部・下部消化管
ロボット手術プロクター
趣味: 読書、ドライブ



高田 考大

専門: 下部消化管
趣味: 車、バイク



榎田 泰明

専門: 上部消化管
趣味: スキー・サイクリング
ゴルフ



山田 和之介

専門: 下部消化管
ダビンチ手術
趣味: スカッシュ



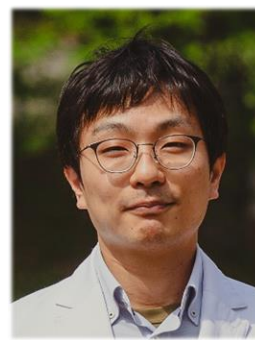
加藤 隆二

専門: 下部消化管
趣味: 釣り



鈴木 雅貴

専門: 上部消化管
趣味: スノーボード
スポーツ観戦



今泉 潤

専門: 下部消化管
趣味: 写真

4.ブラックジャックセミナー

子ども向け手術体験セミナー を2019年より開催しています。
 3年間COVID-19の影響でweb開催でしたが、今年是对面での開催が再開されます。
 COVID-19の影響下でも続けて開催してきたのは、全国で当センターのみです。
 開催日：2023年7月29日を予定しています。高校生対象。
 2023年5月頃より応募開始します。
 当センターホームページ等で検索してください。



(2019年ブラックジャックセミナー)

消化器外科外来担当表 (R5.4.1現在)

月	火	水	木	金
		尾嶋 仁 榎田 泰明 渡辺 亮 高田 考大 鈴木 雅貴	尾嶋 仁(新患) 榎田 泰明 渡辺 亮 高田 考大 鈴木 雅貴	尾嶋 仁 榎田 泰明 高田 考大 鈴木 雅貴

・診療予約等につきましては当院ホームページをご覧ください

URL: <http://www.gunma-cc.jp>
 TEL: 0276-38-0771(代)

予約専用電話: 0276-38-0762



臨床試験対象の患者さんを紹介して下さい！

〈未治療の患者さんが対象です〉

- ・再発、切除不能食道癌 (stage IV) の患者さん
- ・食道扁平上皮癌 (stage II-III) で、根治的放射線化学療法対象の患者さん
- ・下部直腸癌 pT1(sm)で内視鏡切除後追加切除の必要な患者さん(一括切除後)
- ・直腸癌局所再発の患者さん(遠隔転移なし)

【食道癌】

KUNLUN 試験

局所進行切除不能食道扁平上皮癌患者を対象とした、デュルバルマブと根治的放射線化学療法との同時併用を検討する第Ⅲ相ランダム化二重盲検プラセボ対照国際共同施設共同試験

食道癌関連 phase 1a study (再発、切除不能食道癌 stage IV)

【胃癌】

JACCRO GC-11 (FirSTAR 試験)

術後補助化学療法中または終了後早期に再発した胃癌に対するCapeOX+ニボルマブ療法の第Ⅱ相試験

【大腸癌】

JCOG2014

標準化学療法に不応・不耐な切除不能進行再発大腸癌患者を対象としたTrifluridine/Tipiracil単剤療法とBi-weekly Trifluridine/Tipiracil+Bevacizumab併用療法のランダム化比較第Ⅲ相試験

JCOG2010

下部直腸癌に対するtotal neoadjuvant therapy (TNT)およびwatch and wait strategyの第Ⅱ/Ⅲ相単群検証的試験

JCOG2006

切除可能な局所高度進行結腸癌に対する術前mFOLFOX6療法と術前FOLFOXIRI療法のランダム化第Ⅱ相試験

JCOG1915

再発低リスク大腸癌に対するレスインテンシブサーベイランスの単群検証的試験

JCOG1805

再発リスク因子を有するStageⅡ大腸癌に対する術後補助化学療法の有用性に関するランダム化第Ⅲ相比較試験

JCOG1503

StageⅢ治癒切除大腸癌に対する術後補助療法としてのアスピリンの有用性を検証する二重盲検ランダム化比較試験

JCOG1612

局所切除後の垂直断端陰性かつ高リスク下部直腸粘膜下層浸潤癌 (pT1 癌)に対するカペシタビン併用放射線療法の単群検証的試験

JCOG1801

直腸癌局所再発に対する術前放射線療法の意義に関するランダム化比較第Ⅲ相試験

JCOG1609 INT. DREAM試験

JCOGとEORTCの国際共同研究

大腸癌 肝転移に対して腫瘍遺残の有無を判断できる術前画像診断の開発

大腸癌研究会プロジェクト研究

「直腸癌治療における側方郭清に関する前向き観察研究」(PLANET study)

CIRCULATE試験

遺伝子検査によるスクリーニング

遺伝子異常情報・臨床情報を大規模データベース化

GALAXY試験

根治的外科治療可能な結腸・直腸がんを対象としたリキッドバイオプシーによるスクリーニング研究

【お問い合わせ先】

群馬県立がんセンター 消化器外科 尾嶋 仁

住所: 〒373-8550 群馬県太田市高林西町617-1 TEL:0276-38-0771(代表) FAX:0276-38-0614